



要望書について



2013年9月26日から11月15日にかけて行いました要望アンケートや意見箱に寄せられた意見をもとに作成した要望書案が2013年度後期自治委員会総会で承認され、要望書となりました。学生自治会では今後、この要望書を用いて大学に対して要望の実現を訴えかけていきます。

ここでは、要望書に載せられている要望内容の紹介といくつかについては補足の説明を載せています。また、要望書と要望書資料は学生自治会Webサイトからダウンロードできます

本年度、大学に要望する内容

○学費に関する要望

学費を増額しないこと

○講義・履修に関する要望

共通教育科目の増加

成績評価に公平性を持たせること

状況に応じて、授業の受講を許可すること

○施設・設備・構内設備に関する要望

需要に応じた新たな駐輪スペースの設置

個別の自習スペースを増加すること

○りんくうキャンパスに関する要望

りんくうキャンパス内の学生が自由に利用できるスペースの増加

要望アンケートへのご協力
ありがとうございました。
アンケートは計 1198 通の
回答をいただきました。

○共通教育科目の増加

共通教育科目には、抽選により受講者を決める仕組みになっている授業があります。しかし、学生からは「抽選に外れることにより必要単位の取得が遅れる」や「抽選で外れて受けたい授業が受けられない」などの意見が多数ありました。

そのような状況を少しでも少なくするために、共通教育科目を増加させることにより、抽選に外れる人数を減らす、また学生が受講したいと思える科目を増やすことのできるように大学に求めます。

○状況に応じて、授業の受講を許可すること

「資格を2つ取るときにCAP制が弊害となる」や「申請するとCAPを外れるようにしてほしい」などの意見が多数ありました。

現在、教育職員免許状や資格などの取得の際にCAP制のため、必要な授業を受講しづらくなっています。そこで、資格科目や副専攻の課程で必要となる場合などの状況に応じて、各学年の学生担当の教員および科目の担当教員などと相談の上、特定の授業を受講できるように大学に求めます。



○りんくうキャンパス内の学生が自由に利用できるスペースの増加

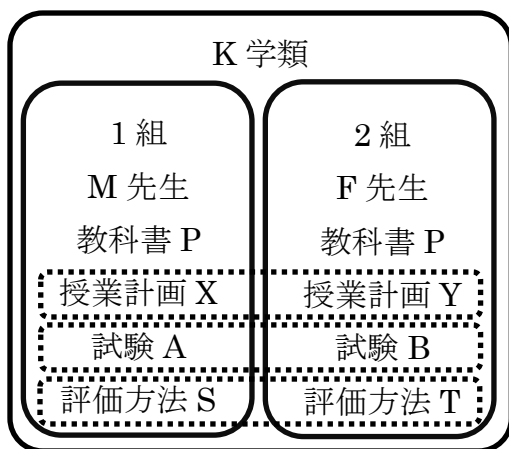
りんくうキャンパスの施設について、ラーニングcommonsや図書館など、学生の学習スペースはありますが、「学習できるスペースを増加してほしい」という意見が寄せられています。また、ラーニングcommonsは学生会室に併設されているため、利用には申請が必要となっています。その他施設に関しても、長期休暇中に昼食を食べるスペースがなく、長期休暇以外においても、大抵の場合、食堂は午後2時以降照明が落とされています。さらには、夏場に冷房をつけることができない場合もあります。

このように、現在りんくうキャンパスでは、学生が自由に利用できるスペースが制限されています。また、設備について、学生が利用するうえで不便な場合もあります。そこで、りんくうキャンパス内の学生が自由に利用できるスペースの増加するように大学に求めます。

○成績評価に公平性を持たせること

府大では、受講者の人数を調整するために英語や数学などの科目でクラスを分けることがあります。しかし、同じ科目を受講しているにもかかわらず、クラスにより成績評価が異なる場合があります。実際に英語や数学などの授業でも、クラス間で成績に大きな差が生じている学類もあります。

課程配属や授業料減免制度の審査は公平でなければなりません。しかし、現状ではその審査に用いられるGPAなどの成績評価がクラスにより公平でない場合があります。公平な課程配属や減免制度の審査を行うためにも、同学類内の定期試験や成績評価の基準を統一することなどにより成績評価に公平性を持たせることを大学に求めます。



現行の体制ではクラスにより、成績に大きな差が生まれる可能性がある。



大きな差がある状態で課程配属や減免制度の審査基準の一つになる可能性がある。

実際に、Academic English や、物理学、プログラミング入門などで、クラス間に大きな差が生じている学類がある。

- 最高評価の A+ の人数に 20 人以上の差が生じている学類がある。
- 一方のクラスは A+ と A の評価の学生がいらないのに対し、もう一方のクラスは約 4 割の学生がその評価である。

○需要に応じた駐輪スペースの設置

現在、多くの学生が学内で自転車を利用しています。そのため、駐輪スペースは多くの学生が利用する設備です。しかし、現状では利用者に対し駐輪スペースの広さが足りておらず、駐輪スペースからはみ出す自転車も多く、混雑しています。大学内全体を考えると、すべての自転車を収めることができるかもしれませんが、授業などによる局所的な需要には対応できていないのが現状です。実際、B12棟学生会館前は261台(11月13日12:20調べ)の駐輪があり、想定されている77台より大きく上回っています。そのような混雑を緩和するために、利用者の多い場所、学生が駐輪を希望する場所に駐輪スペースを設置すること大学に求めます。



C7 棟前 11月13日(水) 14:16 撮影

60台の駐輪が想定されている駐輪スペースに152台の自転車が駐輪されています。

写真からわかるように道を完全に寸断しているため、歩行者や自転車での移動の弊害となっています。



A5 棟前 11月15日(金) 9:37 撮影

92台を想定している駐輪スペースに、184台の自転車が駐輪されています。

緊急車両が入ることも想定していますが、現状では入ることができません。



B4 棟前 11月13日(水) 14:16 撮影

左の写真は大学が定める駐輪スペースではありません。しかし、現在多くの自転車が駐輪されています。また、道路にまで広がっているため、事故につながる可能性があります。